

○ 安心して手術を受けられるように・・・

「手術室の中はどうなっているの？手術と聞くだけで不安。」そんな手術に関する疑問や不安はありませんか？今回は、手術室の様子や手術前後の流れについて、中材・手術室島津美佐看護長に説明していただきます。

手術室の看護スタッフは9名で、外科、整形外科、産婦人科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、胸部・心臓血管外科、皮膚科の手術を行っています。

病気や手術に対する不安や緊張を和らげるために、手術を受ける患者さんのもとへ術前に訪問ししおりやパンフレットを用いて、手術室への入室から退室までの様子をご説明しています。また、患者さんとの関わりを大切に、手術を担当する看護師が病室まで術前・術後訪問にお伺いしています。手術を控えた患者さん・ご家族の皆様は、何かと気がかりなことが多いと思われそうですが、安心して手術を受けていただけるよう、医師・看護師全力を挙げて治療・看護にあたっております。

手術室内では音楽が流れています。ご希望の音楽がありましたら、その音楽を流すことができます。好きな曲を聴くことで少しでも落ち着いた気持ちになれば、と思っております。

いつも患者さんの安全を第一に、前向きで活力ある職場づくりをめざし、明るく元気にがんばっています。

手術室のしおり H20.1

手術を受けられる _____ 科 _____ 様へ

こんにちは、安芸病院手術室看護師 _____ です

手術室での様子を少しでも知っていただき、安心して手術を受けていただけるよう、お伺いしています。

ご希望に沿える看護ができるよう一緒に考えていきたいと思っております。

手術の際は、医師と手術室の看護師でチームを作り当日は2～3名の看護師が担当させていただきます。

手術は _____ 月 _____ 日 _____ 時 _____ 分からです

手術室の担当看護師は _____ の予定です

ご一緒に手術中の工夫や対策を考えたいと思っております
よろしく申し上げます

※手術室では、看護師がそばで説明しながら看護します。
医師と担当看護師がそばにいますので遠慮なく、おっしゃってください。

※ご家族は手術室入口まで、一緒に来ていただけます。
手術室内には入れません。
病室か病棟の待合室でお待ちください。

※手術中の連絡窓口は病棟詰所になっています。
心配なこと、わからないことなど、遠慮なくお尋ね下さい。

高知県立安芸病院 手術室

手術を受けられる前の注意



- 貴金属類を必ず外して来てください
手術中のけがや、火傷の予防の為です
(ヘアピン、髪留め、指輪、ネックレス、ピアス、時計、ビップエレキバンなど)
- 長い髪は束ねてください。
- 化粧、マニキュアは落として来てください
- 入れ歯は (入れて ・ 外して) 来てください

- 手術室は2階にあります。
- 病棟の看護師と一緒に手術室に向かいます。
- 手術室に入ると、手首の名札(ネームバンド)を見ながら、

「お名前？」
「どこの手術を受けますか？」



とお尋ねします。お答えください。

- 手術室用の帽子をかぶります。
- 手術室の看護師と一緒に、
ストレッチャー、車椅子、又は歩いて
手術室内に入っていきます。
- 手術室内では、緊張がほぐれるよう、音楽を流しています。
お好きな音楽をお持ちいただけます。(CD・テープ)



手術中の安全のために・・・

- 心電図、血圧計をつけます。手術のあいだ続けて測ります。
- 酸素が充分行き渡っているか知るための器械を指につけます。
- ベッドから落ちないように、安全帯で軽くおさえます。
- 手術の始まる前に、



「名前」
「手術の場所」

を医師、看護師が最終確認しています。

※けがや事故の無いよう医師、看護師が声をかけながら行きます。

○ 安芸病院DMAT出動【訓練】！

当院では、DMAT〔ディー・マツ〕チームが2隊あり、災害時や大規模な事故に対応できるように適時訓練を行なっております。

3月20日から2日間、四国県内のDMAT隊員を参集した訓練を高松で行ないました。

1日目の訓練は、大地震と航空機事故を同時に対処するものでした。

訓練当日8時30分に、東南海地震（M8.0）が発生し、広域医療搬送を行なうために、四国四県のDMAT隊に高松空港へ参集要請がある一方、空港では航空機の不時着事故が発生し多数傷病者がでる、という悲惨な状況設定です。

災害やDMAT隊員への派遣依頼がありますと、各隊員の携帯電話メールに一斉通告があります。〔余談ですが、チリ地震による大津波警報がでたときも、DMAT隊員全員にメール通知が来ました。〕その後、病院へ集まり、医療資機材の積み込み、隊員装備の装着など出発の準備を整えます。

今回訓練のチーム構成は、医師2名・看護師3名・事務1名の6人です。



○ 空港内ブリーフィング



○ 黄色エリア内での活動

一方、チームの人員・医療資機材・目的地までの予定到達時刻とルートなどをEMIS〔イー・ミス〕といわれるインターネットを利用した災害情報システムに入力していきます。このEMISは携帯電話からでも一部利用可能で、随時、チームの情報の更新や災害現場の状況をチェックしながら、車で高松空港まで向かいました。

13時頃到着し、早速、全隊員でブリーフィングを行ないます。訓練とはいえ、空港到着まで自分たちが何を行なうのか、詳細状況はどうなのか聞かされていないので、みな真剣に情報収集を行ないます。

安芸病院DMATチームは、航空機事故多数負傷者対応の黄色エリア（中等度傷病者）の担当になり、突風や通信混乱などのアクシデントのなか、迅速・的確に患者の処置・搬送を実施し、かなり上出来な内容でした。

2日目は、香川県消防学校へ向かい、1日目の訓練評価とCSM〔がれきの下の医療〕訓練を実施しました。倒壊した建物内に取り残された救助者のもとへ行き、救助者の状態確認、点滴や気道確保など症状に応じた救急処置をその場で行なうという訓練です。

訓練用トンネル内は非常に狭く、明かりもないため、救助者にたどり着くのもやっとの状態です。その中をレスキュー隊員とともに進入・対処し、無事に訓練を終えることができました。



○ 安芸病院DMAT隊員

*DMAT：災害急性期（48時間以内）に活動できる機動性を持ったトレーニングを受けた医療チーム

○ 新任医師の紹介

＜整形外科 前田尚男 副医長＞



- ① 着任 平成22年4月
- ② 出身地 高知県
- ③ 卒業年 平成13年
- ④ 専門など資格 整形外科専門医・日本体育協会スポーツドクター
- ⑤ 専門 整形外科 一般
- ⑥ 趣味・特技 特にありません、残念ながら
- ⑦ ー口コメント 福田先生の後任として、がんばっていますので、宜しくお願いします。